

渡過

【ロープブリッジの種別】

- ・ 2本合わせを1線として設定することが原則。
- ① 水平ロープブリッジ
 - (1) 1本ロープブリッジ
 - ・ ロープブリッジ1線を展張するもので、設置が容易であるが、渡過員に技術を要する。
 - (2) 2本ロープブリッジ
 - ・ ロープブリッジ1線を足場綱とし、上方にロープ1本を展張して手すり綱とする。
- ② 斜めロープブリッジ
 - ・ 高層建物等、設定場所に高低差のある際に設定する。

【1本ロープブリッジ渡過方法の種別】

- ① セーラー渡過操法
- ② モンキー渡過操法
- ③ チロリアン渡過操法

【渡過の留意事項】

- ・ 渡過員は必ず命綱を付ける。
- ・ 命綱のカラビナの安全環が、完全に締まっていることを、確認する。
- ・ 渡過訓練は低所から高所へ、練度に応じて段階的に実施する。
- ・ 渡過ロープと命綱の接触部分には、ロープの損傷防止の措置をする。
- ・ 渡過ロープの設定に当たっては、係留点を綿密に点検し、その結着を複数にする。
- ・ 仮に渡過員が宙吊りになっても、地物に接触しない場所を設定する。
- ・ 渡過が完了したならば、安全姿勢を確保した後、渡過ロープからカラビナを外すようにする。
- ・ 訓練の際、安全ネットその他の安全器具を活用し、安全確保を図る。